

会議録

会議の名称	令和5年度 美郷町花水流地区住民説明会（第3回）
開催日時	令和5年8月20日（日） 14：00～15：00
開催場所	美郷町花水流集会センター
出席者	花水流地区長：黒木様 花水流地区住民：他16名（男性：13名、女性：3名） 美郷町町民生活課（担当）：田村課長、中田主査 構成市町村：川越課長（日向市）、川越課長補佐（門川町） 中原課長（諸塚村）、尾前主査（椎葉村） 日向東臼杵広域連合：黒木局長、辻本補佐、黒木係長、近藤主任主事 (株)建設技術研究所：池田主任、和田主任
議題	・予備調査の結果報告 ・事業スケジュール ・地域振興策について ・基本同意について
会議資料の名称及び内容	第3回花水流地区住民説明会 日向東臼杵広域連合次期広域最終処分場施設整備事業について
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

1 開会

2 あいさつ（美郷町花水流地区区長）

3 参加者の紹介

（美郷町役場町民生活課（担当）／田村課長、中田主査）

（構成市町村／日向市環境政策課：川越課長、門川町環境水道課：川越課長補佐

諸塚村住民福祉課：中原課長、椎葉村税務住民課：尾前主査）

（広域連合／黒木局長、辻本補佐、黒木係長、近藤主任主事）

（コンサル／池田主任、和田主任）

4 概要説明（進行：美郷町町民生活課 中田主査）

説明会次第

・予備調査結果の報告 ・事業スケジュール

・地域振興策について ・基本同意について

【事務局】 （資料内容に沿って説明）

【事務局】 これより質疑応答を始めていきたいと思います。ご意見のある方は挙手のうえ、一問一答形式でお願いします。

それでは、何かご意見のある方はいらっしゃいますか。

【地区住民】 18日（金）の建設検討委員会で出た意見や要望を概略で構わないので、説明をお願いしたい。

【事務局】 資料14ページの左側が建設候補地を上空から見た水の流れになります。流れは耳川へ流れ出る北側エリアと田代川へ流れ出る南側エリアに分かれています。北側エリアには国道327号線の下に直径1,500mmのヒューム管があり、次期広域最終処分場を建設した場合、表流水や浸出水処理水はこのヒューム管を通して耳川へ放流を行います。検討委員会の中では、落ち葉や土砂によってヒューム管が詰まらないような整備の計画や防災調整池の適切な整備により、排水に支障がないようお願いしたいといった意見がありました。

建設候補地の地質（資料6ページ）について、国道327号線から町道へ入ったところにあるモルタル吹付されている擁壁は痩せ尾根（両側が切り立って崖状になっている狭い尾根）となっています。また、地質踏査の際に崩壊跡を確認しており、崩れやすくなっている箇所があります。このような箇所は掘削

を避けるような施設配置計画にすることや掘削を避けられない場合には(崩れないように)対策を実施すること、崩壊跡が今後拡大していく恐れがあるのか調査を実施してほしいといった意見が上がりました。

【地区住民】 次期広域最終処分場整備事業について各構成市町村ではどのように捉えているのか。また、(住民・庁内・議員からの)意見があればお聞きしたい。

【事務局】 次期広域最終処分場の最終候補地に花水流地区が選ばれている(建設が決定されているということではない)ことは公民館長会や村政座談会での説明、村の広報誌への掲載等を通して村民への周知を実施しています。

【事務局】 次期広域最終処分場の用地選定業務は日向市以外の2町2村が行う取り決めになっています。そのため、日向市は基本同意が締結された翌年度から、次期広域最終処分場に関する事務に加入し、5市町村で事務を進めていきます。

また、残りの町村(門川町・椎葉村)について、本日は担当課長の代理に出席していただいているため、この場での回答は難しいです。

【地区住民】 予備調査では風向風速調査は実施されたのか。過去に採石場があり、そこから粉じんが飛散し、小川・仮迫地区へ影響があったため、オープン型の最終処分場となった場合に同様のことが起こるのではと懸念の声が上がっている。

【事務局】 今回の予備調査では風向風速調査は実施していません。令和6年度以降の環境調査(生活環境影響調査)では実施する予定です。

5月に見学した都城市の志和池処分場では台風後の一般市民の持ち込みに備えて、掘り上げが行われていたため、砂ぼこりが舞っているという状況がありました。

日向市の一般廃棄物最終処分場では清掃センターから焼却灰等を薬剤処理した状態で最終処分場へ運び、その上から土を被せることで(焼却灰等)舞い上がらないような工夫を行っています。

風向風速調査を実施したうえで、影響の範囲を想定し、それに応じた対策を行います。

【地区住民】 地域振興策は具体的にどのようなことに利用できるのか。

【事務局】 地域振興策の内容は基本同意後に協議を進めていきますが、全国的な事例としては道路の整備や公民館の建設、備品の購入等に利用されています。また、複数年に分けて、地区の整備費用として交付する等の事例もあります。

【地区住民】 地域振興策には次期広域最終処分場の跡地利用に係る事業費も含まれているのか。

【事務局】 地域振興策の事業費は次期広域最終処分場を受け入れていただくにあたって、地域の振興に必要な整備をするための費用になります。跡地利用に係る費用は含まれていません。

【地区住民】 気象調査が来年3月まで実施されるため、9月に基本同意を行うことは時期尚早ではないか。

【事務局】 事業スケジュールについて、本事業に取り組む前に日向市一般廃棄物最終処分場が令和13年度中に満杯になるという予測をもとに逆算し、構築しています。

基本同意を9月に設定しているのは、令和6年度以降の事業実施に向けた予算編成や職員の配置を決めるためにぜひ9月に基本同意を確認させていただきたいと考えています。

また、気象調査の現時点での結果と周辺の観測所データと照らし合わせたときに、日向田代(美郷町)でのデータと約98%一致していることが確認できました。その結果から、建設候補地での過去15年以上における降水量を想定していますが、3月まで調査を継続し、詳細なデータを基に処分場の形式や施設規模等を検討する基礎資料とします。

【地区住民】 次期広域最終処分場の形式(オープン型・被覆型)については、地元住民の意向は反映されるのか。また、基本同意について、花水流地区内においてはどのように進めていこうと考えているのか。

【事務局】 次期広域最終処分場の形式については、建設検討委員会での協議や地元住民の意見も参考にして、来年度策定予定の基本計画に反映し、決定します

【地区住民】 8月25日に小組合長を集めた会議を実施し、どのように住民(世帯)へ賛否を問うか、9月のいつ頃に総会等を実施するのか、規約にある過半数の賛成でよいか、基本同意を9月に行ってよいか等のことを協議する。

【事務局】 その他、何もご意見等ないようであれば質疑を終了させていただきたいと思います。…ご意見等はございませんでしたでしょうか。

それでは、挙手の方もないので、ここで質疑応答を終了したいと思います。大変貴重なご意見ありがとうございました。

本日の説明会を踏まえて、今後のスケジュールなどに関してご意見等ありましたら、日向東臼杵広域連合業務第1係もしくは美郷町役場町民生活課までお問い合わせください。日向東臼杵広域連合のホームページのお問い合わせフォームからもご意見をお送りいただけます。

また、これまでの委員会や住民説明会の資料、会議録も公表しておりますのでご確認いただくと幸いです。

それでは、以上を持ちまして第3回花水流地区住民説明会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

～ 閉 会 ～